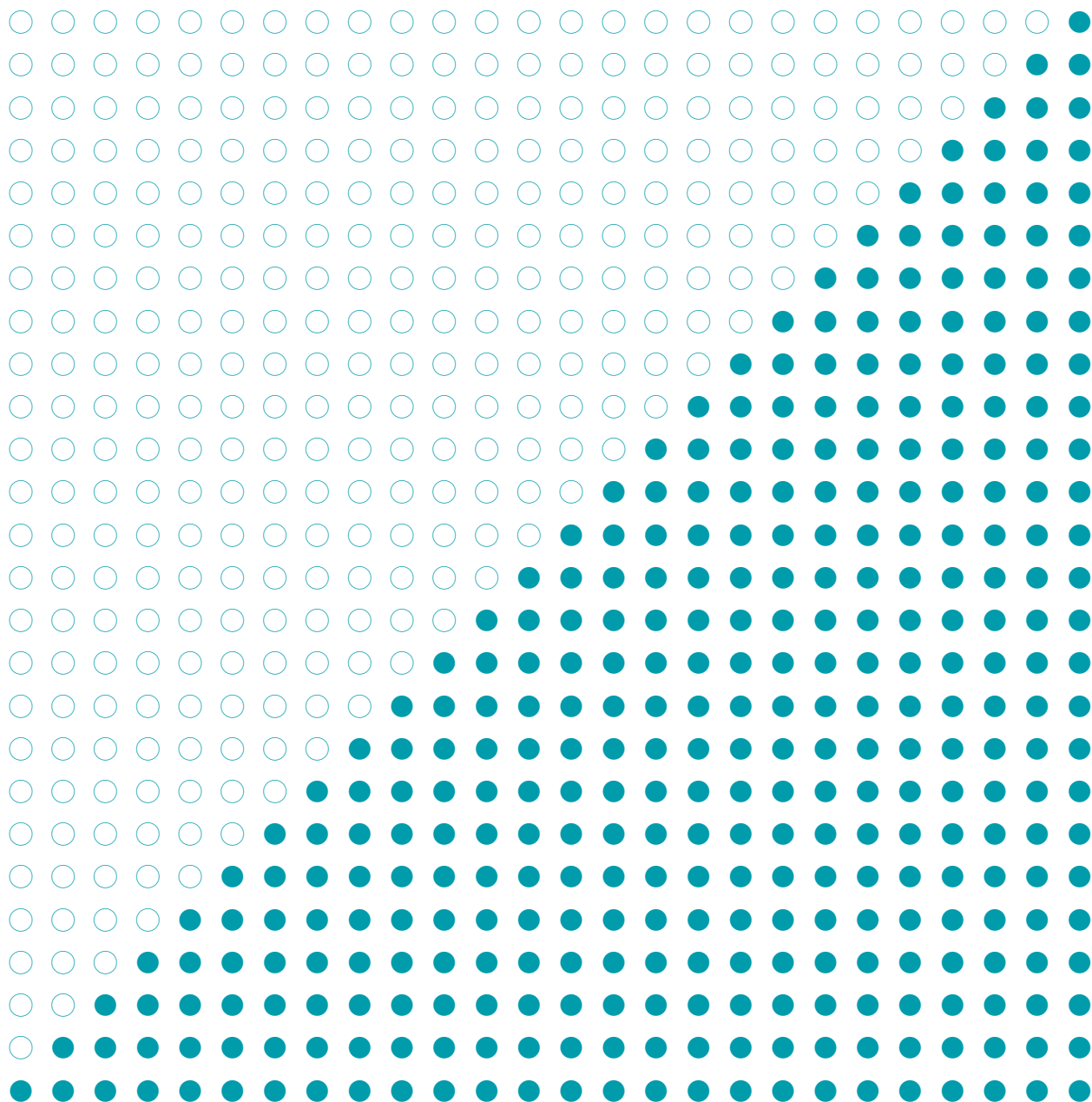
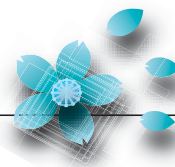


第 1 章



基本理念



まちづくりは、このまちに住み、働き、学び、楽しみ、集い、健康で快適な生活を営むことができる都市環境を創出することです。

私たちのまち土浦は、日本第2の湖「霞ヶ浦」や万葉の昔から歌われてきた「筑波山麓」などの豊かな自然や土浦城をはじめとする多様な歴史と文化に培われ、先人のたゆまぬ努力と情熱によって、県南の中心都市として着実な発展を遂げてきました。

社会全般において競争力が求められるなど厳しい時代を迎えた中で、今後も県南の雄都としてリーダーシップを一層発揮するためには、土浦市が持つ誇れる資源や人材、優れた居住環境などを生かした、土浦ならではのまちづくりが重要です。土浦の魅力や活力が高まることで、住む人たちはまちに誇りを持ち、訪れる人がまちのよさを実感し、定住人口や交流人口の増加にもつながります。

また、市民生活においては、急変する社会経済情勢に不安を感じている市民も少なくありません。だれもが安心・安全で、希望を持って暮らせるまちづくりを進めるとともに、住んでよかったと幸せを感じることができる「新しい土浦」を、市民と行政の協働により築いていくために、「まちづくりの基本理念」を次のように設定します。

○快適で安心・安全な「日本一住みやすい」まちづくり

人々のぬくもりや心の交流を大切にしながら、将来にわたり安心・安全で、生き生きと希望を持って暮らせる環境を整備し、だれもが「住んでみたい、住んでよかった」と思える「日本一住みやすい」まちを目指します。

○地域資源を生かした活力あるまちづくり

豊かで美しい自然と誇れる歴史・文化資源を大切にしながら、かけがえのない郷土「土浦」の恵まれた地域資源や人材を生かして、まちに誇りと愛着が持てる、魅力と活力にあふれたまちを目指します。

○共に考え行動する「協働」によるまちづくり

自主自立の都市経営が求められており、まちの主人公である市民が「自分たちのまちは、自らが創る」といった意識のもとに、市民、団体、事業者と行政が相互にパートナーシップを確立し、それぞれの責務と役割分担により、市民協働のまちを目指します。